

採点基準 化学

- (1) 空欄補充問題の化学用語はひらがなでも可だが、漢字の間違いは不可。
 (2) 文章で理由を述べたり説明したりする設問の場合、漢字の間違いは1点減点。
 (3) 数値の表記に関して: 例えば 3.5×10^{-1} は0.35、 35×10^{-2} など同値であるものはすべて可。
 (4) 計算問題の答えに関する基準
 例) 問題文: ...を有効数字2桁で答えよ。 解答解説冊子の解答例: 0.32 (たとえば計算結果 = $0.324 \dots \div 0.32$)
 ① 解答例通りの 0.32 に満点を与えます。
 ② 0.31、0.33 のように末尾の桁が1だけ違う場合、1点減点します。
 ③ 有効数字が1桁(指定の桁数未満)の答えは不可とします。
 有効数字3桁以上で答えている場合、その3桁目を四捨五入して解答例通りになれば、1点減点します。
 例えば、解答用紙に0.325という答えが記されている場合、0.325の3桁目を四捨五入すると0.33となるので、1点減点することになります。
 ただし、0.50などとキレイに算出される設問の場合は、例外として個々の設問に応じて基準を記してあります。
 有効数字3桁で答える設問の場合も、上記と同様に採点してください。

第1問		配点 25点	
問1	9点	3点 × 3	(1)1か所でも個々の物質の状態を書いていなければ1点減点。複数か所あっても減点は1点とする。 熱化学方程式を等号ではなく、矢印にしている場合は1点減点。 エネルギー単位の誤りは1点減点(減点は重複あり、ただし最大3点の減点) (2)上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。 (3)解答例と違う値は不可。小数第1位以下まで書いてある場合、小数第1位を四捨五入して解答と同値であれば1
問2	4点		解答例と同様の内容であれば可。
問3	4点		上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。
問4	4点		上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。ただし「0.8」は1点減点とする。
問5	4点		解答例と違う値は不可。小数第1位以下まで書いてある場合、小数第1位を四捨五入して解答と同値であれば1点減

第2問		配点 25点	
問1	4点	2点 × 2	左向きの矢印も書いているものや、矢印を等号で書いているものは不可。イオン反応式で書いていない場合は不可。
問2	3点		解答例通り。イオン式で書いていない場合は不可。
問3	6点	3点 × 2	解答例通り。
問4	3点		左向きの矢印も書いているものや、矢印を等号で書いているものは不可。化学反応式で書いていない場合は不可。
問5	6点	3点 × 2	上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。ただし(f)について「0.15」は1点減点とする。
問6	3点		結果2点、理由1点。ただし「増加した」と書いている場合、理由によらず0点。理由は解答例と同様の内容であれば

第3問		配点 25点	
問1	3点		左向きの矢印も書いているものや、矢印を等号で書いているものは不可。化学反応式で書いていない場合は不可。
問2	3点		上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。
問3	3点		左向きの矢印も書いているものも可。矢印を等号で書いているものは不可。化学反応式で書いていない場合は不可。
問4	6点	2点 × 3	解答例通り。
問5	4点	2点 × 2	解答例通り。過不足があった場合1点減点。(減点は最大1点)
問6	3点		解答例通り。過不足は1つあるごとに1点減点。
問7	3点		上記「計算問題の答えに関する基準」に従う。

構造式に関する基準:

CH間、OH間の価標を記していても可。

C-C、C=Cを省略した場合不可。

C-O、C=Oを省略した場合1点減点。

ベンゼン環は六角形の中にOを書いたものでも可。

1つの構造式において減点対象となる箇所が複数あっても減点は1点とする。

第4問		配点 25点	
問1	6点	2点 × 3	上記「構造式に関する基準」に従う。
問2	6点	2点 × 3	解答例通り。Bベンゼンカルボン酸も可。
問3	1点		解答例通り。
問4	1点		解答例通り。カルボキシル基も可。
問5	2点		解答例通り。C、H、Oの順番は違っても可。示性式の場合実際のFの通りであれば可、そうでない場合は1点減
問6	6点	2点 × 3	上記「構造式に関する基準」に従う。
問7	3点		上記「構造式に関する基準」に従う。